

イスラム教国パキスタンに臨んだ祝福
いのちのみことばと驚くべき聖霊の力を通して、パキスタンの魂が神の愛と恵みを体験した。

「霊の愛シリーズ」愛は怒らず
怒る人は神の愛のうちにとどまらず、霊的成長に莫大な支障を招くので、憤りと怒りは必ず捨てなければならない。

まことの幸いをいただくには
永遠のいのちに至るまことの幸いとは何かを悟らせてくれるイエス様の山上の垂訓「八つの幸い」について調べてみる。
支教会6月スケジュール

海外のマンミンの青年
エストニアとインド……いのちの糧を供給されて主のための夢を育てていくアナスタシア姉妹とナンシー姉妹の証し。

万民ニュース

第127号 2013. 5. 26.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7042

www.manmin.org

激しい風のような聖霊のみわざ、 権威ある霊的なメッセージ

パキスタン牧会者セミナーおよびハンカチ集会で新たな力を得た人々



牧会者セミナーとハンカチ集会(使徒19:11-12)でイエス・キリストの愛を伝え、伴うしるして神の生きておられることを証しすると、パキスタンの人々の顔に霊的ないのちの光がかかった(ハンカチで祈っている講師キル・テシク牧師①、証しをする人々②~④、総会長たちとともに⑤、カラチ牧会者セミナー⑥、神の力を体験するために8,000人以上が集まったラホール集会⑦)

国民の97%がイスラム教を信じている国、パキスタン。霊的に乾いたこの地にも、魂に向けられた神の切なる愛によって福音が開いている。

堂会長イ・ジェロク牧師に祈りを受けて神の力が込められたハンカチ(使徒19:11-12)を持って、過去11年間、パキスタンの首都イスラマバードなど各地でセミナーと集会を導いてきたキル・テシク牧師(テジョン万民教会担任)と宣教チームが、今年4月5日から15日まで再度パキスタン宣教を行った。

今回はパキスタン第二の都市ラホールをはじめ、シェークプラ、ムルターン、カラチで5回の牧会者セミナーとハンカチ集会を開き、2度、教団指導者協議会と面会した。これを通して200人以上の牧会者が万民中央教会の支・協力教会に加入し、集会のたびに多くのいやしのみわざが現れて、参加者に大きい信仰を植えつけた。

激しい風のような聖霊の働きとあふれる証し
8,000人以上が参加して盛況だったラホール集会でキル・テシク牧師は「聖霊」(使徒2:1-4)という説教をした。また、シェークプラ

(6,000人余参加)、ムルターン(3,000人余参加)、カラチ(450人余参加)集会では「いやす主」(出エジプト15:26)について伝えた。

説教の後に続いたハンカチの祈りを通していろいろな病気と痛み、わずらいがいやされて、神に大いに栄光を帰した。シュラズ(11)は視力が回復し、3歳で口がきけなくなったウマルアリ(8)はものを言うようになった。でん部の関節手術の後、杖に頼って歩いていたシャキナ(45)は杖なしで歩くようになり、ナシン(35)は車椅子から立ち上がって歩いた。

また、右の肩のマヒで苦しんでいたユシャフ・マシク(50)は右腕が自由に動くようになり、サリル(7)は先天性喘息がいやされた。アビッド(25)は胃腸の痛みで苦しんでいる兄弟の代わりにハンカチの祈りを受けたが、いやされた事実を確認して喜んだ。

また、ブッシュラ(40)はイサクテレビ(社長ファザル牧師)を視聴しながらイ・ジェロク牧師のいやしの祈りを受けて5年の脳腫瘍がいやされ、シャナジ(23)はみごもりの祝福を受けたと証しをして恵みが加わった。イサクテレビはイ・ジェ

ロク牧師の説教を一日6時間、英語とウルドゥー語でパキスタンと中東全域に放送している。

深い霊的なメッセージに驚き、渇くようになったパキスタンの牧会者たち

ラホール牧会者セミナーで講師キル・テシク牧師は「創造主の神」と「世界の始まる前から隠されていた奥義」について伝え、シェークプラ、ムルターン、カラチでの各牧会者セミナーでは「人間を耕作しておられる神」と「善悪の知識の木を生えさせた理由」などについて伝えた。

この他にも、パキスタン連合総会長協議会の定期集会に参加し、マンミンの働きを紹介して「なぜイエスだけが人類の救い主であるのか」(ローマ5:8)について説教した。この後、ラホールの教団指導者との面会で本教会のパキスタン宣教のビジョンを紹介した。

牧会者たちはセミナーのたびに「初めて聞いた霊的なメッセージでした」と感嘆しながら感謝の意を表した。また、本教会の世界宣教ビジョンに関心を示し、ともに働くことを希望した。

サムエル牧師は「私は長い間神学校の教授として聖書を教えてきましたが、今日のセ

ミナーで新しいことをたくさん知りました。今後神学生を教えるのにとっても役に立つと思います」と語った。アシフ・アスラム牧師は「私が持っている知識は何でもありませんでした。神様は聖潔の福音で私たちを新たにされました。こんな幸いなメッセージを開けることに感謝しています」と述べた。

今回宣教してみて、聖潔の福音とマンミンの働きがパキスタン全域に知られているだけでなく、パキスタンの人々がイサクテレビでイ・ジェロク牧師の説教を視聴し、いやされて祝福されていることが確認できた。

また、多くの牧会者が「イ・ジェロク先生が導かれた『2000年パキスタン連合大聖会』の記憶が今でもありありと浮かんできます。パキスタンの歴史で一度もなかった聖会でした」と告白し、波及効果の大きさを察することができた。

さらに今回の宣教でパキスタンの牧会者協議会と教団指導者グループとつながって、宣教の幅が広がるきっかけになった。初めから終わりまでともにおられた神にすべての感謝と栄光をお帰しする。

愛は怒らず



堂会長イ・ジェロク牧師

「礼儀に反することをせず、
自分の利益を求めず、怒らず、
人のした悪を思わず、」
(第一コリント13:5)

て顔色が変わること、口調が無愛想になることも、厳密に言えば怒るということです。程度の差はあれ、心にある憎しみ、わだかまりが表に出てくるのです。かといって、相手の表情だけで「腹を立てたんだな」とさばくことはできません。どこの誰も相手の心を正確に推し量ることは難しいのです。

マタイの福音書21章を読むと、イエス様が宮で売買する者たちを追い出される場面があります。過越の祭りを過ごすためにエルサレムの宮に集まった人々を相手に、商人たちが庭に台を置いて、両替をしたり動物を売ったりしていました。

いつもは争うこともなく、叫ぶこともせず、大路でその声を聞く者もないほど柔和なイエス様が、この光景をご覧になって突然変わられました。細なわでむちを作って、いけにえに使われる動物を宮から追い出し、両替人の台や鳩を売る者たちの腰掛けを倒されました。

人を見ると「イエス様がものすごく怒っておられる」と思うかもしれませんが、そうではありません。いくら良い目的でも、神の宮を汚すことは決して許されないことを教えてくださったのです。これは、公義で愛を完全なものになさる神様の愛から始まったことなのです。

マルコの福音書3章を読むと、イエス様が会堂で片手のなえた人に出会います。ちょうど安息日だったので、悪い人々はイエス様の様子をじっと見ています。もしその人を直せば、安息日を破ったと見なして訴えるためでした。この時、イエス様は彼らの心を知って聞かれます。「安息日にしてよいのは、善を行うことなのか、それとも悪を行うことなのか。いのちを救うことなのか、それとも殺すことなのか」(マルコ3:4)すると彼らは何も言えません。

良いわざだけを行われるイエス様を罪に定めて殺そうとする彼らに向かって、イエス様は強く責められました。何としてでも彼らが悟って、罪から立ち返ることを願われたからです。イエス様がパリサイ派の律法学者たちを責めて義憤を見せられたのは、魂たちを目ざめさせていのちへと導くための愛から始まっていました。このように怒りと義憤は全く違います。そのくらい聖められて罪がないとき、義憤や叱責を通してでも魂にいのちを与えるみわざが起きるのです。

2. 人が怒る理由

人が怒る理由は第一に、相手が自分の思いと心に合わないからです。人はそれぞれ成長した環境や学んだことが違うために、心と思いが違います。教養や判断基準も違います。それなのにすべての人を自分に合わせようとするから、気に入らないのです。

次に人が怒る理由は、自分に従わないからです。自分が相手より先んじていたり、高い地位にいれば、従ってほしいと思います。もちろん目上の人を尊重して、秩序に合わせて従うことは正しいのですが、従順を強いるのは正しくありません。目上の人が目下の人のお話は全く聞こうとしないで、ただ自分の意見に従ってほしいと思っただけではいけません。

これ以外にも、自分が不利益をこうむったり不当な待遇を受けたとき、何の理由もなく恨まれたり被害を受けたとき、自分の指示や要求どおりになされなかったとき、誰かに悪態をつかれたり蔑まれたりするとき、すぐ怒ります。

怒るには、まず心で悪い感情が動き出します。相手の話や行動が感情を刺激して、怒るという行動として出てきます。よく「気を悪くする」という段階が、まさに怒ることの前哨段階です。私たちが怒るなら、神様の愛のうちにとどまることができなくて、霊的成長に莫大な支障を招きます。こんな感情がある以上、真理に変えられることもできないのです。

3. 怒る人の結果

エリシャは師であるエリヤの霊の、二つの分け前を受けて、神の力を現した預言者です。子どものいない女にみごもりの祝福を与えて、死んだ人を生き返らせて、ツァアラトに冒された者をきよめ、祈りで敵軍を退けるなど、驚くべき神のみわざを現しました。それなのに、彼は預言者としては珍しく、病気にかかって死にました。その理由は何でしょうか？

エリシャがベテルへ上って行く時でした。一群の子どもたちがエリシャを囲んで「上って来い、はげ頭。上って来い、はげ頭」(第二列王2:23)とからかいました。彼が髪の毛が少なく、容貌がみすぼらしかったからです。エリシャは良い言葉で言い聞かせてもみましたが、子どもたちはさらにしつこく苦しめました。これ以上耐えられなくなったエリシャは、思わず呪ってしまいます。すると森

の中から二頭の雌熊が出て来て、あつという間に四十二人の子どもをかき裂いてしまいました。

この出来事は、たとえ子どもたちのひどいからかいから始まったとしても、エリシャの心にも怒りを引き起こす感情という悪が残っている証拠です。彼が病気にかかって死んだのも、これと無関係ではありません。これは、神の子どもとして怒ることが正しくないことを悟らせてくれているのです。〈ヤコブ1:20〉に「人の怒りは、神の義を実現するものではありません。」とあるとおりです。

4. 怒らないためには

スプリングは抑えるほどもっと反動力がついて、手を引いた瞬間、はね上がります。同じように、怒りを抑えて我慢すれば、一瞬の危機は免れても、いつかは爆発するはずで、怒らないためには、怒りを引き起こす感情そのものを捨てなければなりません。無理に抑えて我慢するのではなく、最初から我慢することがないように、心を善と愛に昇華させなければならないのです。

もちろん、一日でこのような感情を捨てて、善と愛で満たせるものではありません。毎日絶え間ない努力が必要です。まず、怒りを引き起こすような状況に直面したとき、祈りで神様にゆだねて我慢する訓練をしなければなりません。腹が立つ時は「今この瞬間、怒ることが自分にとって何の利益になるのか」ゆっくり考えてみますように。すると、一瞬我慢できなくて後悔することや、恥をかくことは起こりません。

このように、霊の愛を心に耕すために祈って、聖霊に助けられて耐え忍んでいくなら、怒りを引き起こす感情まで徐々に捨てられます。前は十回怒っていたのが九回、八回とますます減っていきます。後には、いくら腹が立つような状況になっても、心が穏やかになります。

愛する聖徒の皆さん、

ひょっとして教会では腹が立つことがあっても我慢して、家庭や学校、職場ではよく怒ってはいないでしょうか？ 神様は教会にだけおられるわけではありません。私たちの心を聖殿としておられ、いつでもでも私たちの思いと言葉と行いを探っておられるのです。いつも聖なる言葉と行いで神様に栄光を帰しますように、主の御名によって祝福して祈ります。

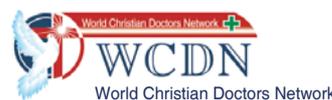


Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7042, 7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: ksy7042@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcntv.org
e-mail: webmaster@gcntv.org



World Christian Doctors Network

Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民 ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ビン・ゲンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒152-848 韓国ソウル市クロク区ク3ドン235-3
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048

まことの幸いとは何か 悟らせてくれるみことば 「八つの幸い」

イエス様が山の上で教えられた宝のようなみことばを山上の垂訓と言う。その中の「八つの幸い」は、しばらくの間現れて、それから消えてしまう霧のような人の子らに、永遠の祝福、すなわち、天国に行けるまことの幸いとは何かを悟らせてくれる。神の御座がある新しいエルサレムに入ることと願う聖徒に信仰をチェックできる指標になることを願いつつ「八つの幸い」について調べてみる。



イエス様が説かれた八つの幸いを記念して建てられた山上の垂訓教会

「心の貧しい者は幸いです。天の御国はその人たちのものだから。」 マタイ5:3

心が貧しいとは、自尊心や高ぶり、利己心、欲などの悪がなく、自分を無にできる心の状態のことを言う。心の貧しい人は福音をすぐ受け入れるだけでなく、イエス・キリストを受け入れた後も、霊的なことを慕うので、神の力によって簡単に変えられることができる。

貧しい心になるためには、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢を捨てなければならない。いつもへりくだった心でみことばを通して心の中にある悪を発見し、火のような祈りで罪と悪を捨てることで、霊的な子どもにならなければいけない。その時、まことで永遠の幸い、すなわち、天国を所有できる。

「悲しむ者は幸いです。その人たちは慰められるから。」 マタイ5:4

自分の悲しみと欲のために心を痛める肉の悲しみでなく、神の国とその義のための霊的な悲しみのことを言っている。霊的に悲しむには、何より霊の愛が心に臨んでいなければならない。それは、心の罪を発見したり使命を果たせなくて顧みる悔い改めの悲しみ、信仰の兄弟と魂の救いのための悲しみである。このように悲しめば、神は私たちに必要なものをあふれるように満たして、天国でも貴重な報いとして積んでくださる。

「柔和な者は幸いです。その人たちは地を受け継ぐから。」 マタイ5:5

霊的な柔和を心に耕した人は、心が綿毛のようにやわらかいだけでなく、真理にあって強く雄々しい。善で温和な心に徳があり、相手の過ちを赦して理解していただくので、多くの人の中で休みを得て、安らかさを感じるようになる。多くの人を救いに導くので、それだけ天国で大きくて広い地を受け継げる。

「義に飢え渴く者は幸いです。その人たちは満ち足りるから。」 マタイ5:6

義とは、神のみこころに従っていくこと、すなわち、善と真理そのものであられる神のことばを行うことである。そのためには、飢え渴いている人が食べ物や水を切に求めるように、義を实践しようと慕わなければならない。つまり、霊的に満ち足りて渴きをいやそうとするなら、イエス様の肉を食べ、その血を飲まなければならない。

これはみことばを熱心に聞いて糧とし、守り行うことである。義に飢え渴く心で続けてみことばを糧とし、真理に従って行っていけば、真理に逆らうものが全くない、聖められた御霊に属する心になる。これがまさに飢え渴いた人が霊的に満ち足りるという幸いである。

「あわれみ深い者は幸いです。その人たちはあわれみを受けるから。」 マタイ5:7

仮に相手がわけもなく自分に悪を行っても、理解して赦し、正しい道へと導けることがまさにあわれみの心だ。自分の立場で自分の利益を求めて考えるのではなく、相手の立場で考えるので、理解できてあわれみを施すことができる。

あわれみの心はいろいろな形で現れるが、赦しのあわれみ、懲らしめのあわれみ、施しの憐れみに大きく分けられる。他の人をあわれむなら、神も私たちの過ちを赦してあわれんでくださる。

「心のきよい者は幸いです。その人たちは神を見るから。」 マタイ5:8

心がきよいとは、知識と教養があつてうわべだけ聖なる行いをするのではなく、心が聖であり、聖められたことを意味する。私たちが罪と悪を捨ててみことばを聞いて守り、真理で満たしていくほど、きよい心になることができる。そのためにはみことばどおり行おうとする自分の

意志と努力が必要だ。ここで「神を見る」とは、ただかたちを見るのではなく、神に求めて答えられ、生ける神を見つけて体験する、あらゆることを意味する。

「平和をつくる者は幸いです。その人たちは神の子どもと呼ばれるから。」 マタイ5:9

相手のために自分を犠牲にするが、いのちまで渡すことが霊的な意味での平和だ。罪の隔ての壁を壊して神と平和をつくり、憎しみなど真理に逆らうものを捨てることで自分との平和をつくる時こそ、他の人ともまことの平和をつくることができる。

すべてのことに自分を犠牲にして、悪はどんな悪でも避けたとき、平和をつくれるし、神の子どもと呼ばれるのだ。さらにイエス様が持っておられた霊的な権威を授けられる(マタイ10:1)。つまり、天国で神の御座がある新しいエルサレムに入って、まことの子どもとして誉れと栄光を受けるようになる。

「義のために迫害されている者は幸いです。天の御国はその人たちのものだから。」 マタイ5:10

みことばどおり真理を追い求めて生きていくと、時には迫害を受けたりする(第二テモテ3:12)。光を照らすと暗やみがなくなるように、光である主を信じる聖徒が多くなるほど、敵である悪魔・サタン領域が縮むしかない。それで、敵である悪魔・サタンは自分たちに属する世の人々に働きかけて、光に属する聖徒を迫害することによって、主を信じられないようにする。

しかし、主の御名によって迫害される時に、むしろ喜びおどる理由は、神が下さる天の報いが大きいからだ。迫害を勝ち抜くことによって信仰が成長し、全き信仰になるほど、よりすばらしい天国の場所に入るようになる。

イ・ジェロク牧師著書『まことの幸いを追い求める者』より

6月支教会スケジュール

6月8日(土)	別府万民教会	権能いやし聖会 (講師:加藤勲牧師)	6月26日(水)	松本万民教会	権能いやし聖会 (講師:伊藤正明牧師)
6月8日(土)	大阪万民教会	リバイバル聖会 (講師:金マルコ牧師)	6月26日(水)	飯田万民教会	権能いやし聖会 (講師:柳スズキ牧師)
6月9日(日)	沖縄万民教会	創立礼拝 (講師:柳スズキ牧師)	6月29日(土)	名古屋万民教会	癒し集会 (講師:時國みや子牧師)
6月11日(火)	旭川万民教会	創立14周年記念礼拝 (講師:張カンソブ牧師)	6月29日(土)	舞鶴万民教会	リバイバル聖会 (講師:金マルコ牧師)
6月16日(日)	東京田端万民教会	特別いやし集会 (講師:鄭庚泰牧師)	6月30日(日)	東京万民教会	権能いやし聖会 (講師:崔ビョンラン牧師)

「ここエストニアでも変化の波によく乗っています」

最近、私はとても幸せです。やっと神様の愛を悟って、まことの信仰生活をしているからです。父のグリゴリー・コレソフ牧師を通して、私は万民中央教会とイ・ジェロク先生の神の力ある働きを知るようになりました。2010年6月、当時病院で検査しても原因がわからない腹痛によって、6年間も苦しんでいました。それで、万民中央教会で起こる死んだ人が生き返り、あらゆる病気がいやされる神の力あるわざは、私にとって驚きでうれしい知らせでした。祈りを受ければいやされるという信仰が湧いてきました。

私はイ・ジェロク先生の自叙伝『私の人生、私の信仰』を読んで、とても感動しました。ずっと涙を流しながら、まことの信仰と神様の大きい愛を悟るようになりました。何より病気は罪によってやって来るということを知って、神様との間を隔てている罪の壁が何か顧みて、悔い改めていやされようと、断食の祈りで備えました。そして、2010年7月2日、万民中央教会の金曜徹夜礼拝の時に、インターネットでイ・ジェロク先生の時間と空間を超えた祈りを受けて、腹痛が完全にいやされました。

2010年10月30日と31日、「2010年イ・ジェロク牧師招へいエストニア連合聖会」が開かれ、私は慕って参加しました。エストニアのキリスト教史上、最多人数が集まって、神様に大いに栄光を帰しました。講師のイ・ジェロク先生が「創造主の神」と「イエスがなぜ私たちの救い主であるのか」というメッセージを伝えました。続いて講壇で祈ってくださいと、見えなかった人が見えるようになり、歩けなかった人が歩くようになるだけでなく、いろいろな病気がいやされました。

聖書にだけ記されているような驚くべき神の力あるわざを目撃しながら、私は神様は確かに生きておられ、その方に愛されている神の力を授かったしもべを通して働かれるのだと悟りました。その後、イ・ジェロク先生の説教を万民中央教会のホームページ(ロシア語)で持続的に聞いて、信仰が日ごとに変えられていきました。



アナスタシア・コレソバ姉妹
(エストニア真理の泉教会)

礼拝中の映像で見た万民中央教会は主の愛で満ちていて、まるで天国のようでした。不思議としるし、神の力あるわざが絶えず起こっていました。私は万民中央教会にどうしても行ってみたいと思いました。当時、財政上の問題で行ける状況ではなかったのですが、切に祈ると神様は答えてくださいました。

2011年の夏、実際に見た万民中央教会は想像以上だったし、喜びと幸せがいっぱいでした。「マンミン夏のキャンプ」では不思議としるしを体験しました。2012年にはイ・ジェロク先生の説教「勉強がよくできる秘訣」を聞いて、それを適用して勉強した結果、優秀な成績で高校を卒業できました。また、エストニアで一番良いタルトゥ国立大学に入学しました。

私は万民中央教会の主日礼拝と金曜徹夜礼拝、ダニエル徹夜祈禱会にインターネット生放送で参加しています。主日大礼拝に参加するには、時差があるので朝4時に起きなければいけません、慕って一緒にささげています。特に今年3月18日からの「2回連続特別ダニエル徹夜祈禱会」に参加して、聖められるために火のように祈っていたら、いつの間にか汗と涙でびしょりでした。いやして、熱い信仰生活ができるように祝福してくださいました三位一体の神様に、すべての感謝と栄光をお帰します。

「神様の愛で私の心を満たしたら病気がいやされて健康になりました」



ナンシー・カプール(インド・デリー万民教会)

私はインドのデリー大学人文学科の3年生です。デリー万民教会(担任キム・サンフィ牧師)に出席する前、教会は通っていましたが、私の生き方に変化はありませんでした。時々友だちに福音を伝えて祈ってはいましたが、疲れて望みのない日々でした。

多嚢胞性卵巣症候群(卵巣に多くの未成熟卵胞が生成されて排卵が起こりにくくなることによって不妊の原因にもなる病気)のために6か月間生理不順でした。また、14歳の時、脊椎炎の手術をしましたが、完治できなくて両手両足にひどい痛みと頭痛があって、眠れませんでした。毎朝、病気のことで祈ってもみましたが、答えられませんでした。私はますます笑いを失い、神経が高ぶってよくけんかして怒りました。病気の苦しみで疲れ果てて、死にたいとだけ思っていました。

ある日、知り合いのラビ・アググスティン兄弟からイ・ジェロク先生の説教と神の力あるわざについて聞きました。兄弟は知人からもらったイ・ジェロク先生の著書『地獄』を読んで恵みを受けて、万民中央教会のホームページ(www.manmin.org)にアクセスしたそうです。そして、イ・ジェロク先生のいのちのメッセージを聞いて信仰が新たにされ、その後デリー万民教会に出席しました。この話を聞いた私は、いやして答えてくださる生ける神様を見つけたいと思いました。

2013年2月3日、デリー万民教会に登録したその日から、私の人生は変わりました。韓国にある万民中央教会の礼拝をインターネット生放送でささげながら、みことばの霊的な意味を正しく知るようになりました。世を愛すれば神様の愛がその人のうちにないと言われるのを聞いて、その日からテレビをやめて、聖書を読むことを楽しみました。毎日、聖書を読んで、イ・ジェロク先生の説教を聞いてその著書を読むと、私の心は天国の望みでいっぱいになって、世のものが心に入ってこなくなったのです。

また、私の病気も、神様を愛してそのみことばを守り行えば、必ずいやしてくださると信じました。愛する子どもたちがまことの祝福を受けられるように導いておられる父なる神様の愛を悟ったからです。その愛を思いながら、私は礼拝のたびにイ・ジェロク先生の「いやしの祈り」を受けました。3月25日の夜、不思議な体験をしました。道を歩いている私に誰かが「あなたは病気がいやされたから、検査を受けてみなさい」と言うではありませんか。周りを見回してみましたが、誰もいませんでした。

その後、不思議なことに脊椎炎による手足の痛みと頭痛がなくなって、ぐっすり眠れるようになっただけでなく、生理不順もいやされました。いやして答えてくださった神様に感謝をお帰しし、祈ってくださったイ・ジェロク先生に感謝いたします。

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>

・名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市長東区上菅 1-916
T) 052-774-8874

・イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771

・イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

・イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市中百舌鳥町 5-775-15
T) 072-220-5289
<http://www.osmanmin.com/>

・イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23
T) 0166-53-0652

・イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

・イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

・イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>

・岡山万民教会
〒706-0002 岡山県玉野市築港1丁目7-26
T) 0867-72-7276

・イエス・キリスト銚田万民教会
〒311-2102 茨城県銚田市台濁沢1080-6
T) 0291-39-9177

・イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740

・イエス・キリスト京都万民教会
〒611-0001 京都府宇治市六地藏奈良町61-22
T) 0774-27-2779

・イエス・キリスト沼津万民教会
〒410-0802 静岡県沼津市上土町6第一ビル2F
T) 055-952-6861

・イエス・キリスト沖縄万民教会
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号
T) 098-988-9472